

# いけぶち佐知子通信 未来にまっすぐ

2015No.6  
(通巻100)

2015/9  
吹田市千里山西  
5-2-5 アビル  
06-4861-7418

## いけぶち佐知子 政策目標に向かつて

7月定例会で、この春の選挙時  
にお示した政策に関して質問  
し、前向きな答弁を得ました  
で、以下、ご報告します。

### 市民の命を守る

○救急車、救急救命隊を増やす  
ことについて、質問しました。  
増車、増隊に向け、関係部局と  
協議するとの答弁を得ました。

○現在、暫定的に保健センター  
に設置されている休日急病診療  
所について、早急に元の場所に  
近いところに設置するよう求め  
ました。

今年度中には場所を決定したい  
との答弁を得ました。(詳細は、  
『すいた市議会通信』に掲載し  
ています)

### 本好きの子どもを増やす

学校図書館にかける人件費が豊  
中市、箕面市に比べて吹田市は  
とても少ないことを訴えました。  
また、子どもたちの調べ学習の  
拠点として学校図書館を機能さ  
せるために、全小中学校への学  
校司書の常駐配置を求めました。  
三年をめどに、計画的に全小中  
学校の学校図書館への配置を進  
めるとの答弁を得ました。



箕面市立小学校の学校図書館



地域で子育てを応援します

### 貧困の連鎖を断ち切る

子どもの貧困の負のスパイラル  
を断ち切るためにも、生活困窮  
家庭の子どもたちを対象とした  
学習支援事業の実施を求めまし  
た。

今年4月施行の「生活困窮者自  
立支援法」には、学習支援事業  
があり、国庫補助率二分の一で  
す。また、「子どもの貧困対策の  
推進に関する法律」に基づく子  
どもの貧困対策のための計画と  
して、大阪府子ども総合計画が  
あり、小・中学生に対する具体  
的取組として、「学校と福祉等関  
係機関との連携」「地域における  
学習支援」があります。  
子どもの貧困対策にターゲット

を絞った学習支援事業の実施を  
求めました。

現在実施している「子ども健全  
育成生活支援員」による支援に  
加え、二〇一六年度中には「学  
習支援」事業の実施に向けて検  
討している。一層、部局間の連  
携を図り、子どもの貧困の連鎖  
の解消に向けて取り組んでいく  
との答弁を得ました。

7月定例会後、ヒアリングした  
ところ、来年度、学習支援事業  
実施に向け、事業者の公募を計  
画したいとの情報を得ています。

公式HP <http://ikebuchi.voicejapan.net/>  
ブログ、ツイッター、フェイスブックで情報発信中。

いけぶち佐知子

検索

ご希望の方には、市政や議会情報をメールでお知らせします。メールでお名前、メールアドレスをお知らせください。

ikebuchi@office.email.ne.jp

# もつと緻密な計算と理論を

## 議員定数を半分にするとは

七月定例会の最終日、五人の議員が議員定数の半減と議員報酬の三割削減をするための条例案をそれぞれ提案しました。

いけぶちは、議員定数については、議員一人当たり、約一万人の人口である吹田市議会の議員定数三六人が、全国的に見ても、まだ大阪府内や北摂地域においても、とびぬけて多いわけではなく、逆にもつと議員一人当たりの人口が少ない自治体もありますので、半分の一人にするとこのような無謀な提案には、議会力を半減するものとして反対しました。

## 議員報酬の三割削減

議員報酬の削減については、いけぶちは、今年春の選挙で、一割の削減を提案しました。したがって、一割削減の条例案であれば賛成しましたが、今回、三割という大幅削減には反対しました。

理由は、議員活動を目いっぱいすればするほど、ほかの仕事をするような時間的、体力的、精神的な余裕はなく、議員報酬は、議員

活動を支えるために、必要不可欠なものだからです。

議員報酬以外に、別の収入があるなど、生活に余裕がある人であればともかく、議員は、霞を食べて生きていける仙人ではありません。食事もしますし、住む家も必要です。いけぶちのように事務所を持つ議員もいます。

## 今の報酬額のままでもいいか

いけぶちは、議員報酬額について、議論することに反対するものではありません。

議員の報酬額の決め方として、全国共通の計算式があるわけでも、標準額があるわけでもありません。市長と議員の仕事量、責任から考えて、市長の給料の七割程度が妥当ではないか、との説もあ

るようです。

吹田市長の給料は月額一〇五万円です。一〇五万円の七割に比べ、議員の月額報酬六五万円が抜きんでて高いわけではありません。むしろ、議員は市長と違い、地域手当も退職手当もありません。

北摂七市の議員月額報酬は、いちばん人口規模の小さい摂津市を除けば六〇万から六六・四万円までと、ほぼ似通っています。しかし、吹田市と同規模（人口三〇万から四〇万人）の特例市では、越谷市五一・五万円、所沢市五六万円であり、吹田市の約八割です。

このように、削減額がいくらが妥当なのかということも、理論的に積み重ねての提案であれば、よいのですが、今回の提案は、提案議員たちが選挙公約として打ち立て、当選したから、提案しなければならぬ、という理由しか思い当らず、賛成できませんでした。いけぶち以外にも数人の議員が、それぞれの会派を代表して、反対の立場での質問や反対討論をしており、最終日の議事録やインターネット録画放映でご覧いただけます。

平成 27 年(2015 年)1 月~3 月の議員会計報告

収入		支出		注
議員報酬(*1)	1,755,000	前期より繰越	△57,776	
いけぶち個人から	1,000,000	収入計	2,697,224	
事務所 2F 家賃	150,000	応援団へ(*2)	450,000	*2: 「応援団へ」には事務所 1F 家賃、水光熱費、事務費、通信費、人件費を含みます。
人件費	100,000	税金	310,050	
事務雑費	8,761	共済・互助会(*3)	317,550	*3: 議員共済がなくなったので、ほぼ同額を個人で掛けています。
交通費	42,988	年金・国保	243,000	*4: 生活費は今年から 20 万円/月にしています。
通信費	40,171	生活費(*4)	600,000	
活動費	861,353	次期へ繰越	△426,649	*活動費(通信印刷費)がかさんだため個人から 100 万円入金しています。
		支出計	3,123,873	